



本市は国際認証制度であるセーフコミュニティ認証を取得しました。

セーフコミュニティいずみおおつ



第
37
回

高齢者の安全対策委員会の活動

高齢者の安全の課題

「転倒によるけがが多い」「交通事故にあうと重症化しやすい」
「認知症高齢者は徘徊によるけがなどの危険性が高い」

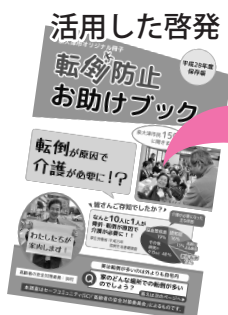
課題解決のための 具体的な取り組み

- ① 転倒防止リーフレット「転倒防止お助けブック」を活用した啓発
- ② 高齢者の交通安全に関する啓発
- ③ 認知症徘徊高齢者に関するサポート

① 転倒防止リーフレット「転倒防止お助けブック」を 活用した啓発

転倒した場所などを調査し、作製した「転倒防止お助けブック」を活用した啓発を行っています。

冊子には家庭でできる転倒防止のためのポイントやチェック項目、経験談などが盛り込まれています。家の状況をチェック項目で確認してみましょう！



転倒防止のための 8つのチェック項目

- ☐ 寝室からトイレに行く通路は明るいですか？
 - ☐ 玄関・階段・浴室・トイレなどに手すりをつけていますか？
 - ☐ コード類にたるみがなく、壁にはわせていますか？
 - ☐ 週に1回以上運動をしていますか？
 - ☐ 床にズレやすいマットや敷物はありますか？
 - ☐ 玄関の電灯は明るいですか？
 - ☐ 畳の滑りやすさに気を付けて歩いていますか？
 - ☐ 小さな段差や敷居を把握していますか？
- たくさんチェックがあるほど、転倒を防止できています。

② 高齢者の交通安全に関する啓発

市では高齢者用自転車ヘルメット購入費の一部助成を行っています。対策委員会では、高齢者が集う会合でのこの制度の周知やヘルメット着用に関する意識調査により交通安全の啓発に努めています。つぎのとおり助成制度を行っていますので、ご活用ください。

■高齢者用自転車ヘルメット購入費の一部助成制度

対象 市内在住の65歳以上の人（補助は購入者1人につき1回限り）
補助金額 購入金額の2分の1相当額（上限3,000円）
問合 土木課（市役所2階22番窓口）

③ 認知症徘徊高齢者に関するサポート

認知症を正しく理解し、認知症の人やその家族の理解者となる「認知症サポーター」制度の周知を図るため、啓発ポスターを市内民間施設に掲示いただくよう依頼しました。

8月には「認知症フォーラム」が開催されます。

■認知症フォーラム

日時 8月27日(日) 午後2時～4時
場所 テクスピア大阪テクスピアホール
定員 申込先着300人（申込開始：8月10日(木)）
内容 認知症に関する講演や体操
問合 地域包括支援センター（☎21・0294）

